



境界線 ここに 高松コンテンポラリーアートフェスティバル Takamatsu Contemporary Art Festival 10th Annual Art Festival じょうがい



There Is No Boundaries Here.!?

3

休館日：月曜日（3月21日（月・祝）は開館）
開館時間：9時30分～17時
（但し金曜日、土曜日は19時閉館 / 入室は閉館30分前まで）
入場料：一般800円（640円）
大学生500円（400円）
高校生以下無料（ ）内は20名以上の団体料金
※身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は無料

2.11
|金・祝|
20 ↓ 22

3.21
|月・祝|

ウチダリナ
UCHIDA RINA
久保寛子
KUBO HIROKO
潘逸舟
PAN ISHU
ユアサエボシ
YUSA EBOSHI
森栄喜
MORI EIKI

〈主催〉
高松市美術館
〈助成〉
一般財団法人自治総合センター
公益財団法人朝日新聞文化財団
NOMURA 野村財団
公益財団法人 熊谷正寿文化財団
〈協力〉
ANOMALY
ギャラリー小柳
KKAO株式会社
KEN NAKAHASHI
Yoshiaki Inoue Gallery



- 1 ウチダリナ 新作イメージ 2021年[1990年]、技術協力：奥村直樹
- 2 「せっかちな未来」[An Impatient Future]
[作・演出：森栄喜、出演：森栄喜、石倉来輝（劇団まごころ）、東京都写真美術館
2017年上演風景・撮影：小山貞弘]
- 3 ユアサエボシ《調査》（部分）2020年、個人蔵
- 4 潘逸舟《そこにはない足跡》（部分）2021年、作家蔵、協力：天神山アートスタジオ
- 5 久保寛子《オリオンの沈むところ》（部分）2021年、作家蔵

TAKAMATSU ART MUSEUM
高松市美術館
TAKAMATSU ART MUSEUM

「高松コンテンポラリーアート・アニアル」は、獨創性、将来性のある優れた作家を発掘、紹介する現代アートのグループ展として2009年のvol.00から始まり、11回目の今回は「ここに境界線はない。/?」をテーマとし、5人の作家を紹介いたします。

画材や制作方法、テーマやコンセプトが先進的であり前衛的な表現を追求するコンテンポラリーアートは、既成概念を覆し、心の内に引いていた境界線をなくしてくれる存在です。その一方で、社会や人々の意識の中に存在する不当な境界線を明らかにするものもあります。

蛾や自身の身体をモチーフに、和紙を焦がして模様を描き出す手法で表現するウチダリナ(1990年、東京都生まれ)は、本展では、和紙の作品にくわえて、自身の出自にまつわる出来事を平成という時代に投影させた物語を写真と映像作品で見せます。先史芸術や民俗芸術などを、インスピレーションの源に制作を続ける久保寛子(1987年、広島県生まれ)の、身近な素材を用いた作品は新しい彫刻の可能性を提示します。潘逸舟(1987年、中国・上海生まれ)のイサム・ノグチ設計のモエレ沼公園でのパフォーマンスをもとにした新作ビデオインスタレーションは、人工と自然、自己と他者、現在と過去の対比を想起させる者の価値観を揺るがします。「大正生まれの架空の三流画家であるエアサエボシ」として作品を制作するエアサエボシ(1983年、千葉県生まれ)は、史実を下敷きにした虚構と妄想の世界に私たちを誘います。セクシャルマイノリティーをはじめとする多様性をテーマに、写真や映像、文章、パフォーマンスなど様々な手法で表現する森栄喜(1976年、石川県生まれ)は、社会の中でかき消されてしまう「小さな声たち」を紡いだ音の作品を展示、その中で高松市在住の音楽作家のぼびまきみ(1995年、兵庫県生まれ)とのパフォーマンスも行います。



- 1 ウチダリナ《みずとゆめ》(部分) 2018年、作家蔵
- 2 久保寛子《プロローグの器物》2017年、作家蔵
- 3 潘逸舟《雑草》2021年、作家蔵
- 4 「せつかな未来」[An Impatient Future][作・演出: 森栄喜、出演: 森栄喜、石倉来輝(劇団緑ご)] 東京都写真美術館、2017年上演風景、撮影: 小山貞弘
- 5 エアサエボシ《GHQ PORTRAIT》2017年、作家蔵

SNS 展覧会情報、ワークショップなどの関連イベント、美術館の裏側など、高松市美術館情報を配信しています。



関連イベント お問合せ・お申込みは高松市美術館(電話0877-823-1771)まで

アーティスト・トーク

2月11日(金)祝 14時~15時30分(13時30分開場)
出演:ウチダリナ、久保寛子、潘逸舟、森栄喜、エアサエボシ(潘のみ事前収録・映像出演)
1階講堂/先着40名/無料/要電話申込1月21日(金)8時30分
内容:出品作家が自身の作品や制作について、トーク、ディスカッションします。

森栄喜パフォーマンス

2月11日(金)祝 18時~19時
出演:森栄喜(本展出品作家、ぼびまきみ(音楽作家))
2階展示室/無料(要観覧券)、当日会場にお越しください。
内容:展示作品に合わせて、身体の動きと音を組み合わせ、パフォーマンスを行います。

「盗まれた傷だらけ」[Stolen Scars]

2月12日(土) 10時~12時
講師:ウチダリナ(本展出品作家) / 3階講座室/定員10名
対象:小学生以上
参加費:500円/要電話申込1月22日(土)8時30分
内容:和紙を使って身近にある物を表現してみよう!

ウチダリナワークショップ

和紙でかたどるカタチ

久保寛子ワークショップ

「ブルーシートで作ろう!瀬戸内の魚」

ミニコンサート

ギャラリートーク(展示解説)

同時開催

3月5日(土) 13時30分~14時
演奏:ラルト(辻村彰、藤田哲志、(テフル)若井健司、(サクソ)藤田亜子、(ピアノ)大山まゆみ
1階エントランスホール/無料、当日会場にお越しください。
プログラム:マシエキ作曲「決闘」、池辺晋一郎作曲「軌道エレベーター」ほか

学芸員:2月12日(土) 14時、ボランティア(中)三、会期中の日曜日・祝日
14時~2階展示室/要観覧券

第4期常設展 1月5日(水)~3月27日(日)
※常設展小室1は、3月10日(木)、11日(金)は休室、3月12日(土)~27日(日)は第39回伝統漆芸展を同時開催

《交通のご案内》

JR 四国 JR 高松駅下車、南へ徒歩約15分
ここで心 瓦町駅、片原町駅下車、徒歩約10分
バス路線(ショッピング・ラインポー循環バス) 紺屋町バス停下車、徒歩約2分(まほバス)
丸亀町三番街下車、徒歩約3分(高速バス) 県庁通り下車、徒歩約8分
駐車場 美術館地下:公営駐車場(石料、乗用車144台収容)

高松市美術館

〒760-0027
香川県高松市紺屋町10-4
Tel: 087-823-1711

